

SOTEC

CF17R1

取扱説明書

このたびは、当社の17インチカラーモニターをご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品の製造に際しては、万全を期しておりますが、万一お気づきの点があれば、当社テクニカルサポートセンタまでお問い合わせください。本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

目次

安全にご使用いただくために	1
使用上の注意	3
調節用データ	4
制御機能	5
背面図	8
D-SUBコネクタピンの配置図	9
D-SUBコネクタの接続法	9
製品仕様	10
チルト/スイベルスタンドの取り付け・取り外し方	12
トラブルシューティング	13

注意

本製品は、Microsoft Windows 95/98対応製品です。モニタタイプを選択するときは、「スタンダードモニタタイプ」をお選びください。

本製品は、ISO(国際標準化機構)の9001適合認定工場にて製造されました。

安全にご使用いただくために

1. 本取扱説明書をよくお読みください。
2. 本取扱説明書は大切に保存しておき、後でわからないことが出てきたときにお役立てください。
3. 本体に記されている警告と指示・注意を守ってください。
4. 本体を掃除するときは、先に電源プラグを抜いてください。
5. 水がかかるところでは使用しないでください。
6. 不安定な台やテーブルの上には設置しないでください。落下して、本体が破損する恐れがあります。
7. 本体の背面や底面には、通風孔があります。誤動作・過熱を避けるため、本製品をベッド、ソファ、敷物やこれに類するものの上に置かないでください。また、熱源のそばにも置かないでください。適切な通風を確保してください。
8. 本体に表示されている電源でのみご使用ください。電源タイプについての不明な点は、販売店か電力会社にお問い合わせください。
9. 本製品のプラグは、3線アース型で、安全のためにアースピンが付いています。コンセントにプラグを挿入できないときは、アースピンに対応している変換プラグを取り付けてください。
10. 電源コードを踏んだり、物を載せたりしないでください。
11. テーブルタップなどの延長コードを使用するときは、接続されている全装置の合計アンペア数が、延長コードの許容アンペア数を超えないようにしてください。また、コンセントの電流は、15アンペア以下にしてください。
12. 本体の内部に異物を挿入しないでください。高電圧部に接触したり、ショートしたりして、火災発生や感電する危険があります。また、本製品に液体をこぼさないでください。
13. 修理は自分で行わないでください。カバーの取り付け・取り外しの際に、感電やその他の危険があります。修理については、すべてサービスマンにお任せください。

安全にご使用いただくために

14. 下記の場合には電源プラグを抜き、サービスマンに修理を依頼してください。

- 電源コードやプラグが損傷したとき。
- 本製品に液体をこぼしたとき。
- 雨や水がかかったとき。
- 取扱説明書通りに使用しても、正常に動作しないとき。各種の調節は、取扱説明書で説明されている範囲内で行ってください。不適切に調節すると装置が故障し、何度も修理に出さなければなりません。
- 本製品を落下させたとき。
- パフォーマンスがいちじるしく低下したとき。

▶▶ 注意

電源コードが主電源になっておりますので、電源コネクタは、本製品のすぐ近くに設置してください。

サービスマンへの注意

カバーを取り外して修理を始める前に、電源プラグを抜いてください。本製品では、電源コードが主電源になっています。

使用上の注意

▶ **バックカバーを取り外さないでください。**

バックカバーを取り外せるのは、資格のあるサービスマンだけです。モニター内部には高電圧部があります。

▶ **不適切な環境では使用しないでください。**

感電や火災を防ぐため、不適切な環境では使用しないでください。本製品は室内用ですので、雨の当たる場所や、湿気の多い場所に設置しないでください。振動、塵、腐食性ガスは避けてください。

▶ **通気性の良い場所に設置してください。**

本体の通風孔は、内部の過熱を防ぐためのものです。本製品を覆ったり、上面に物を載せたりしないでください。（通風孔は、本体の底面にもあります。）

▶ **熱源を避けてください。**

直射日光にさらしたり、発熱装置のそばに置いたりしないでください。

▶ **磁界に注意してください。**

本製品の近くに、磁石・スピーカー・フロッピーディスクドライブ、およびその他磁気を発生するものを置かないでください。本製品を磁界の中に置くと、色がにじんだり、ディスプレイ・パターンがゆがむことがあります。

▶ **眼精疲労を避けてください。**

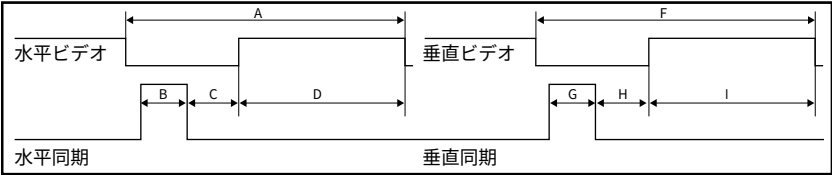
本体後方から照明などを明るく照らさないでください。また、日光や他の光源が、直接モニターを照らさないようにしてください。

▶ **重量物に注意してください。**

電源コードの上に、モニター本体や他の重いものを載せないでください。電源コードの損傷により、火災や感電の危険があります。

調節用データ

1. 推奨されている信号タイミングチャート



D-SUB入力信号

No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
解像度	水平	640	720	640	640	800	800	800	1024	1024	1280
	垂直	350	400	480	480	600	600	600	768	768	1024
同期	水平	POSI	NEGA	NEGA	NEGA	POSI	POSI	POSI	NEGA	POSI	POSI
	垂直	NEGA	POSI	NEGA	NEGA	POSI	POSI	POSI	NEGA	POSI	POSI
水平	周波数	KHz	31.469	31.469	31.469	43.269	37.879	46.875	53.674	48.363	63.981
	周期	A us	31.777	31.777	31.777	23.111	26.400	21.333	18.631	20.677	15.630
	同期	B us	3.813	3.813	3.813	1.556	3.200	1.616	1.138	2.092	1.016
	BACK P.	C us	1.907	1.907	1.907	2.222	2.200	3.232	2.702	2.462	2.201
	ACTIVE	D us	25.422	25.422	25.422	17.778	20.0	16.162	14.222	15.754	10.836
垂直	周波数	Hz	70.087	70.087	59.941	85.008	60.317	75.000	85.061	60.004	84.997
	周期	F ms	14.268	14.268	16.683	11.764	16.579	13.333	11.756	16.666	11.765
	同期	G ms	0.064	0.064	0.064	0.069	0.106	0.064	0.056	0.124	0.044
	BACK P.	H ms	1.907	1.080	1.049	0.578	0.607	0.448	0.503	0.600	0.524
	ACTIVE	I MHz	11.122	12.711	15.253	11.093	15.840	12.800	11.179	15.880	11.183
ドット率		MHz	25.175	28.322	25.175	36.000	40.000	49.500	56.250	65.000	94.5
インタレース			NO	NO	NO	NO	NO	NO	NO	NO	NO

工場出荷時の設定モード以外に、12のユーザー設定モードを保存できます。
ユーザー設定モードの内容を表示するには、ご自分でモニタ画面を調節してください。（メモリ・リコールを選択したときには、「非事前設定モード」が画面に表示されます。）設定後は、画面に関する設定内容が、マイクロプロセッサ内のメモリに保存されます。

2. 調節方法

画面を調節したいときは、「制御機能」(P.5)を参照してください。
設定内容は、自動的にマイクロプロセッサ内のメモリに保存されます。

制御機能

1. 電源スイッチ

この電源スイッチで、モニタの電源を入れたり切ったりします。スイッチを押すとモニタの電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

2. 電源ランプ

電源ランプは次のように点灯します。

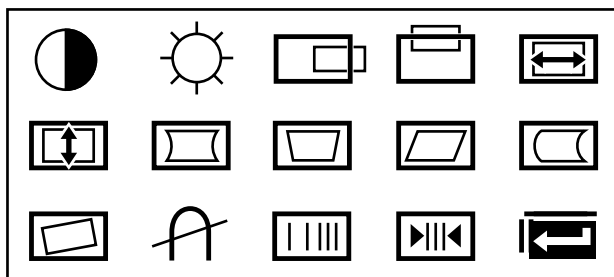
- ・ 通常の作動時は緑色
- ・ セーブモード時は点滅

3. メニューボタン

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)メニューを表示させたり、OSDメニューを非表示にしたりするときにボタンを押します。

メニューボタンを押すと以下のようなメニュー画面が表示されます。

OSDのメニュー



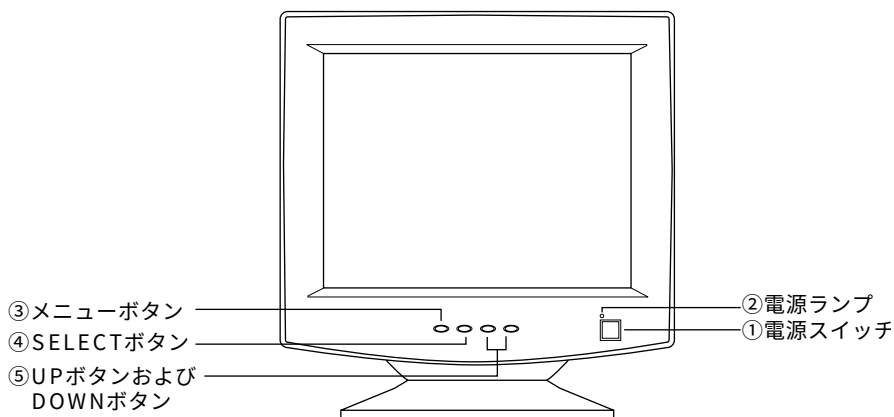
機能を選択するには、UPボタン↑・DOWNボタン↓を押します。(選択した機能は反転表示されます。)

制御機能

4. SELECTボタン

メニュー表示中に「SELECT」ボタンを押すと、画面底部にバーグラフが表示されます。UPボタン↑・DOWNボタン↓を押して、モニタを調整できます。

※バーグラフ表示中に「SELECT」ボタンを押すと、バーグラフが非表示になり、メニュー表示画面に戻ります。



制御機能

5. UPボタンおよびDOWNボタン

機能を選択したり、調節するときに使います。

機能	▼	▲
	コントラストが減少	コントラストが増加
	輝度が減少	輝度が増加

背面図

6. AC電源

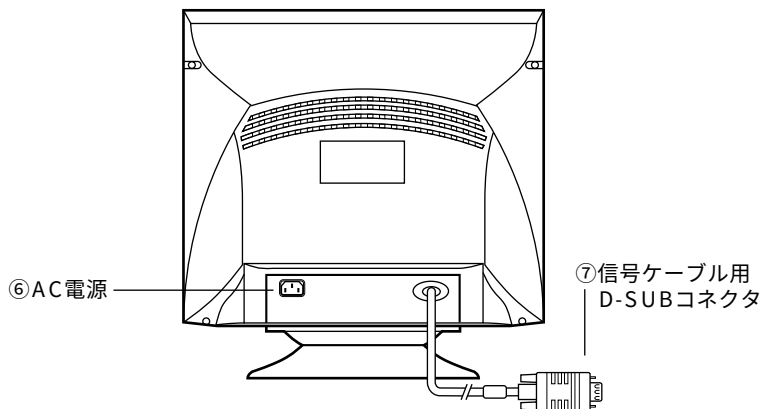
電源コードを接続します。

▶▶ 注意

本製品では、電源コードが主電源です。

7. 信号ケーブル用D-SUBコネクタ

IBM PS/2 または、IBM AT 互換コンピュータのアナログRGB信号出力コネクタに接続します。



▶ アクセサリ

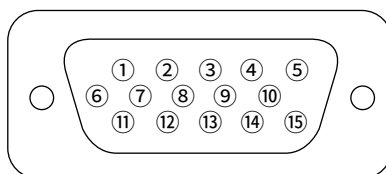
1. 電源コード
2. 取扱説明書

D-SUBコネクタピンの配置図

▶ ピン配置

Pin 1	赤ビデオ	9	
2	緑ビデオ	10	アース
3	青ビデオ	11	アース
4	アース	12	SDA(for DDC)
5	アース	13	水平同期(または水平+垂直同期)
6	赤アース	14	垂直同期
7	緑アース	15	SCL(for DDC)
8	青アース		

D-SUBコネクタピンの配置図



D-SUBコネクタの接続法

1. パソコンとモニタの電源が切れていることを確認します。(モニタの電源ケーブルは、外しておきます。)
2. モニタに、D-SUBコネクタを接続します。
3. モニタに電源ケーブルを接続します。
4. モニタのスイッチを入れます。
5. パソコンのスイッチを入れます。

製品仕様

▶ ブラウン管

対角線寸法……17 インチ

高解像度スクリーン……ドットタイプ 0.27mm ピッチ、ブラックマトリックス・スクリーン

高コントラストスクリーン……ダークフェイス・プレート・ガラス

省電力……偏向角 90 °、直径ネック 29.1mm

フルスクウェアタイプのスクリーン……16 インチのビジュアル対角スクリーン

ギラつき問題対応……ハイビュー(ケイ素コート)サーフィス

インバール・シャドウマスク

反射防止加工

▶ 入力信号

D-SUB入力

アナログRGBビデオ信号：0.7 Vpp 75 Ω

同期信号：TTLレベル

▶ スイープ周波数

水平：30-70 Hz (自動)

垂直：50-150 Hz

▶ ビデオ帯域幅

最大値 110 MHz

▶ ディスプレイエリア (16インチの可視サイズ)

最大サイズ：324×244mm

事前設定サイズ：305×225mm

▶ 入力電源

AC 100-240 V, 50/60 Hz (自由電圧)

▶ 消費電力

最大値：100 W

セーブ時：15 W未満

製品仕様

▶ 寸法 (ダンボール箱)

560(横)mm×520(縦)mm×495(高)mm

▶ 重量

ダンボール箱に入っている状態：19.5kg

本体のみ:16.5 kg

▶ 解像度

最大値：1280ドット×1024ドット

▶ DDC 1/2B

▶ OSD (On Screen Display)

▶▶ 注意

製品仕様は、予告なしに変更することがあります。

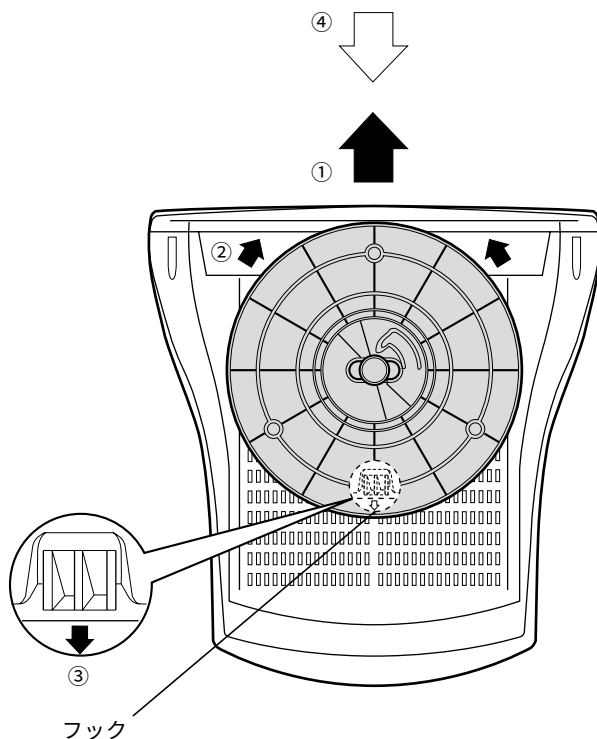
チルト/スイベルスタンドの取り付け・取り外し方

チルト/スイベルスタンドの取り付け方

1. モニタを静かに逆さまにします。
2. スタンドと、モニタ底面のスロットを一直線上に並べます。
3. スタンドをスロットに挿入します。(イラスト①)
4. スタンドをモニタ前面方向に、カチッと音がするまで押します。(イラスト②)

チルト/スイベルスタンドの取り外し方

1. 本体カバー背面のフックを押し下げます。(イラスト③)
2. スタンドをモニタ背面方向に引っ張り、持ち上げます。(イラスト④)



トラブルシューティング

問題	確認してください
パワーセーブモードではないのに、画面が真っ暗である。	ビデオカードはスロットにきちんと挿入されていますか。 モニタとパソコンの電源スイッチは入っていますか。 信号ケーブルは、ビデオカードとパソコンにきちんと接続されていますか。 コネクタが捻じ曲がっていたり、ピンがめり込んだりしていませんか。
モニタの電源ランプが点灯しない。	モニタの電源スイッチは入っていますか。 電源コードは接続されていますか。
画像が片寄っている。大きすぎる。小さすぎる。	機能ボタンで、サイズと位置を調節します。
ディスプレイのサイズと位置が保存できない。	調節した後は、約10秒経ってから、設定変更・信号切断・モニタの電源切断を行ってください。
画像がスクロールする。不安定。	信号ケーブルは、パソコンにきちんと接続されていますか。 ピン配置・信号タイミング・ビデオカードを確認してください。
画像が飛び跳ねる。波線パターンが現れる。	電波障害を引き起こしている電気器具を、モニタから離してください。
画面の辺縁がカーブする。	側面のピンクッション制御を調節してください。

お問い合わせ先

株式会社ソーテック テクニカルサポートセンタ

〒220-8136 横浜市西区みなとみらい2-2-1-1

横浜ランドマークタワー36F

 0120-22-5474 FAX:045-224-1126

E-Mail : support@sotec.co.jp

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00

土・日曜日 9:00～17:00

(但し、弊社指定休業日を除く)

